

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権に関わる相談を受け、問題解決のお手伝いや、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済、地域の皆さんが人権について関心を持ってもらうよう啓発活動を行っています。

養父市の人権擁護委員も、人権相談所の開設、街頭での普及啓発活動、地域での人権教室の開催など積極的に取り組んでいます。

【人権相談所の開設】

養父市における人権相談所は、毎月第3金曜日に開設しています。

人権相談所の開設日は、市広報やぶ「くらしのカレンダー」または、市のホームページでご確認ください。

また、人権擁護委員に直接お問い合わせいただいても構いません。まずは、ご相談ください。

【養父市の人権擁護委員】(敬称略)

養父市の人権擁護委員は現在9人です。お問い合わせ先は、次のとおりです。

委員名	住所	電話番号
秋山 佐枝子	大屋町中	669—0719
岩本 利幸	大塚	665—0604
高岡 けい子	八鹿町八鹿	662—4831
田淵 喜久子	丹戸	667—7045
津崎 建司	関宮	667—2946
長島 求	八鹿町九鹿	662—3692
西村 勝	八鹿町浅間	662—4572
松田 茂男	大屋町加保	669—0281
圓山 慶子	小城	664—1331



7月21日、八鹿文化会館前で、街頭啓発活動を行う人権擁護委員

9月の人権相談

～ささいなことでも結構です。お気軽にご相談ください～

【日時】 9月21日(金)

午前9時～11時30分

【会場】 八鹿公民館、養父公民館、大屋市民センター、関宮エイドホール

まちの文化財 94

加保坂のヒスイ原石

大屋の加保から関宮に続く道路の横に、ヒスイ原石が露出しています。

昭和52年3月、林道工事で土を削ったところ蛇紋岩が出土しました。分析の結果、この岩石の中にヒスイが存在しました。これが大屋のヒスイ原石です。

この原石は、蛇紋岩の中にヒスイ輝石と曹長岩を伴うかたまりとして存在し、その周井を苦土蛭石が取り囲んでいます。

特に地層と一体的に存在することが重要です。ヒスイの自然産状を示す日本唯一の事例です。昭和58年3月、「加保坂の硬玉(ヒスイ)原石露頭」として、兵庫県指定文化財になりました。

約4億年前、地表から20メートル内部にある地殻の岩脈(三郡変成帯)で、マンガンから供給されたカンラン岩の岩漿が分離し、結晶化してヒスイが産まりました。

ヒスイ原石の出土地は日本国内に8カ所ほどありますが、現在もヒスイ原石が見



道路横にある大屋のヒスイ原石

学できる場所は、新潟県糸魚川市と養父市大屋町などです。ヒスイ原石の風化を防止し、さらに盗難防止と見学者の学習のために、幅4メートル、高さ2メートルの範囲をコンクリートと鉄柵で保護しています。

原石の大きさは、幅1.9メートル、高さ1.1メートル、奥行0.7メートルです。表面は風化して黄褐色、内部は灰白色です。正面と左側が大きく破損し、他にも掻き取り痕跡があります。人間による窃盗目的の破損で、大変痛々しくなっています。

大屋のヒスイには宝石的な価値はありません。しかし岩石学や地球物理学にとっては極めて重要な資料です。文化財破壊は犯罪です。ヒスイの盗難防止に努めています。(教育委員会社教育課)